

＝ 会 告 ＝

講演会・見学会等の開催予定

2020年1月10日現在

開催予定月日	講演申込締切	前刷原稿提出締切	催しもの	開催地	共催学協会名	企画部門	備考
2020年2月28日(金)			日本航空宇宙学会 関西支部 第474回航空懇談会	大阪府		関西支部	68巻1月 会告2頁参照
2020年3月11日(水)～14日(土)	2019年11月8日(金)	2019年12月20日(金)	AJCPP-2020(兼 第60回航空原動機・宇宙推進講演会)	仁川(韓国)	中国工程熱物学会, 韓国推進工学会	原動機・推進部門委員会	68巻2月 会告4頁参照
2020年3月13日(金)			第48期西部支部総会及び特別講演会	福岡市		西部支部	
2020年3月18日(水)～19日(木)	2020年1月10日(金)	2020年1月24日(金)	日本航空宇宙学会北部支部2020年講演会ならびに第1回再使用型宇宙輸送系シンポジウム	室蘭市	航空宇宙技術振興財団(予定)	北部支部	67巻10月 会告6頁参照
2020年4月16日(木)～17日(金)	2019年12月27日(金)	2020年2月14日(金)	第51期定時社員総会及び年会講演会	東京都		第51期理事会	67巻12月 会告2頁参照
2020年7月1日(水)～3日(金)	2020年3月8日(金)	2020年5月12日(火) 23:59	第52回流体力学講演会/第38回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム	岩手県	宇宙航空研究開発機構	空気力学部門	68巻2月 会告5頁参照
2020年8月5日(水)～7日(金)	2020年3月6日(金)	2020年6月5日(金)	第62回構造強度に関する講演会	佐賀県	日本機械学会, 宇宙航空研究開発機構	構造部門委員会	68巻2月 会告6頁参照
2020年9月14日(月)～18日(金)	2019年7月31日(水)	2020年6月1日(月)	第32回国際航空科学会議上海大会(ICAS2020)	中国(上海)			67巻5月 会告4頁参照

会員数 (2019年12月現在)

資格 摘要	正会員	学生会員	名誉会員	賛助会員 (個人)	賛助会員 (団体)
12月会員数	3292	1170	49	0	57
11月会員数	3283	1159	49	0	57
差引増減	9	11	0	0	0

崎ひろの((株)IHI), 堀井拓真((株)SUBARU), 仲鉢貴臣(三菱重工業)

新入会員名簿学生会員(敬称略)

横山大知(高知工科大学), 田口清(中部大学), 中野一朗(大同大学), 元田有哉(大阪府立大学), 井上豪(九州工業大学), 福嶋祐貴(鳥取大学), 三輪祐登(鳥取大学), 中村駿介(鳥取大学), 青木智(東京大学院), 今口大輔(静岡大学), 二村成彦(東京大学院), 井戸雅也(東京大学院), 土黒聖斗(九州大学院), 金周会(東京大学院)

新入会員名簿正会員(敬称略)

白井芳雄((株)白井工業研究所), 工藤祐介(防衛装備庁), 田尻恭平(京都工芸繊維大学), Matthew Richardson(東京大学), 佐藤英一(宇宙航空研究開発機構), 岡

会員訃報

ご逝去の訃音に接し、ここに謹んで哀悼の意を表すとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

竹中幸彦君 ご逝去

小林繁夫君 平成31年04月07日ご逝去

白井実君 令和元年07月04日ご逝去

田畑浄治君 令和元年07月19日ご逝去

川建和雄君 令和元年03月28日ご逝去

井澤克彦君 令和元年06月07日ご逝去

木村逸郎君 平成31年02月06日ご逝去

武井良司君 平成31年01月22日ご逝去

河野通方君 ご逝去

別府護郎君 令和元年09月14日ご逝去

桜井晃君 令和元年09月22日ご逝去

安東茂典君 平成31年03月12日ご逝去

佐熊雄平君 令和元年06月29日ご逝去

砂川恵君 平成31年03月01日ご逝去

木村明君 平成30年12月12日ご逝去

鈴木幹雄君 平成30年09月01日ご逝去

令和2年1月

日本航空宇宙学会会員の皆様へ

日本航空宇宙学会会長 渡辺 重哉

論文集編集委員会委員長 寺本 進

和文論文集のカラー化・オンライン化について

日本航空宇宙学会では1989年の第47巻540号より独立した冊子として日本航空宇宙学会論文集（以下和文論文集）を発行し、会員の皆様にお届けするとともに、J-STAGE上で電子版を公開しています。近年論文を電子版で検索・閲覧する形が主流になる中で、冊子を発行し続けることによる制約についてご意見をいただくようになり、学会としても和文論文集の発行形態について検討を進めてきました。その結果、和文論文集の論文内容充実を目指して、和文論文集のカラー化およびオンライン化をすることとしました。

カラー化およびオンライン化より目指すのは、以下の2点です。

(1) カラー図表の利用拡大

従来は1頁7万円の印刷実費負担が必要だったカラー図表を追加料金なしで使えるようになります。

(2) 掲載料の値下げ

8頁以降は1頁約5万円と割高となっていた掲載料を1頁1万円の均一料金と引き下げました。

和文論文集のカラー化およびオンライン化は2020年8月に行います。2020年6月発行の第68巻第3号を冊子最終号とし、第68巻第4号からはJ-STAGE上でのオンライン版のみでの発行とする予定です。

また、カラー化や掲載料値下げを反映した新しい投稿規定は2020年4月発行の第68巻第2号に掲載する予定です。

今後とも、当学会の論文集へのご投稿をお願い申し上げます。

第 29 回 日本航空宇宙学会賞（論文賞・技術賞・奨励賞） 授賞決定のお知らせ

2020 年 1 月 30 日
第 51 期 理事会

2019 年度の日本航空宇宙学会賞につきましては、本誌 2019 年 6 月号および本会ホームページに募集要項を掲載し、2019 年 8 月 19 日までに応募および推薦のあった候補を対象に、論文、技術、および奨励賞選考委員会におきまして、慎重かつ厳正な審査を行い、下記記載のように、論文賞 1 件、技術賞 2 件（基礎技術部門 1 件、プロジェクト部門 1 件）および奨励賞 1 件の学会賞授賞候補を選考いたしました。これらの授賞候補は理事会に上申され、2019 年 12 月 20 日開催の第 565 回理事会において審議の結果、授賞を決定いたしました。

なお、受賞者の皆様には、2020 年 4 月開催の定時社員総会・会員の集いにおきまして表彰を行い、副賞を贈呈いたします。選考結果の詳細は、会誌 5 月号に掲載されます。

（敬称略／所属は論文・技術等公表当時のものです。）

☆論文賞（1 件）

ピラミッド配置型 CMG をもつ宇宙機の擬似スペクトル法による最適姿勢変更計画

小林 洋（大阪大学）、荳司 泰弘（大阪大学）、山田 克彦（大阪大学）

☆技術賞（2 件）

[基礎技術部門]

準天頂衛星と静止衛星による地域衛星測位システムおよび高精度測位技術の考案と設計

河野 功（宇宙航空研究開発機構）

[プロジェクト部門]

機体騒音低減技術の飛行実証（FQUROH 飛翔フェーズ）

山本 一臣（宇宙航空研究開発機構）、少路 宏和（宇宙航空研究開発機構）、
高石 武久（宇宙航空研究開発機構）、横川 譲（宇宙航空研究開発機構）、
村山 光宏（宇宙航空研究開発機構）、伊藤 靖（宇宙航空研究開発機構）、
坂井玲太郎（宇宙航空研究開発機構）、有菌 仁（宇宙航空研究開発機構）、
浦 弘樹（宇宙航空研究開発機構）、香西 政孝（宇宙航空研究開発機構）、
葉山 賢司（川崎重工業株式会社）、越智 章生（川崎重工業株式会社）、
磯谷 和秀（川崎重工業株式会社）、上野 陽亮（川崎重工業株式会社）、
土本 雄大（川崎重工業株式会社）、熊田 俊行（住友精密工業株式会社）、
島田 彰久（住友精密工業株式会社）、林 賢亮（三菱航空機株式会社）

☆奨励賞（1 件）

中村 研悟（横浜国立大学）

Numerical Analysis of a Miniature Microwave-discharge Ion Thruster Using Water as the Propellant

Asian Joint Conference on Propulsion and Power 2020 開催案内

(兼 第 60 回 航空原動機・宇宙推進講演会)

企 画 : 韓国推進工学会
協 催 : 日本航空宇宙学会 (原動機・推進部門, 電気推進・先端推進部門), 中国工程熱物理学会
協 賛 : 日本ガスタービン学会, 日本機械学会, 日本航空技術協会

開 催 日 : 令和 2 年 3 月 11 日 (水) ~ 14 日 (土)
会 場 : 韓国 仁川広域市 Songdo Convensia (http://visitincheon.or.kr/Smice/smice/sc/index_jp.do)

ホームページ : <http://ajcpp2020.org/>

参加登録料 : 一般 事前登録 : 400 ドル (USD) 現地登録 : 450 ドル (USD)
学生 事前登録 : 200 ドル (USD) 現地登録 : 250 ドル (USD)
・事前参加登録期限は, 令和 2 年 2 月 14 日 (金) です。
・ホームページにて参加登録手続きを行ってください。
・参加登録料には講演概要集, 講演論文集, バンケットの代金が含まれます。
・講演会中の見学会参加を希望される場合は, 別途費用が必要です。
・学生の方は, 学生証を現地受付に持参願います。

講演集 : 講演概要集 (冊子) を現地受付時に配布いたします。講演概要集 (電子版) の配布形態は未定です。

特別講演 : (日 時) 3 月 12 日 (木) 10 : 30-12 : 00 (予定)
「3D Printed Liquid Rocket Engines: Advancing Performance And Size」
講師 : Launcher Inc. CEO Max Haot 氏
「Space Propulsion System with Green Propellants」
講師 : Korea Advanced Institute of Science and Technology Sejin Kwon 教授

(日 時) 3 月 13 日 (金) 10 : 30-12 : 00 (予定)
「Research and Development Progress of JAXA Kakuda Space Center」
講師 : JAXA 角田宇宙センター 所長 吉田誠氏
「Supersonic and Hypersonic Curved Compression System and its Inverse Design」
講師 : 南京航空航天大学 Kunyuan Zhang 教授

一般講演 : (1) 航空機用エンジン技術 (2) ロケット推進 (固体, 液体, ハイブリッド)
(3) 電気推進, 先端推進 (4) 宇宙往還機用推進システム
(5) 要素技術 (6) 基盤技術 (材料, 構造, 空力, 燃焼, 計測, 等)
(7) CFD

レセプション : (日 時) 3 月 11 日 (水) 18 時 00 分 ~ (予定)
参加登録された方は, どなたでも御参加いただけます。

バンケット : (日 時) 3 月 13 日 (金) 18 時 00 分 ~ (予定)
参加登録された方は, どなたでも御参加いただけます。

見学会 : (日 時) 3 月 14 日 (土)
現地の見どころを周遊する, 1 日コースおよび半日コースの各見学ツアーを企画中です。
参加法 : ホームページよりお申込み願います。講演会参加登録料と別で費用が必要です。
詳細は講演会のホームページをご確認ください。

第52回流体力学講演会／第38回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム講演募集

本シンポジウムは、流体力学講演会(FDC)と航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム(ANSS)を合同開催するものであり、流体力学及び数値シミュレーション技術の分野における研究の発展に寄与することを目的としています。

主催：日本航空宇宙学会、宇宙航空研究開発機構

協賛(予定)：日本流体力学会、日本機械学会、日本風工学会、可視化情報学会、日本ガスタービン学会、情報処理学会、日本燃焼学会、日本応用数理学会

開催日：**令和2年7月1日(水)～7月3日(金) (3日間)**

1日(水)午後APC-VI(下記※1参照)を開催予定

会場：アイーナ:いわて県民情報交流センター 8階
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号
<https://www.aina.jp/>

講演内容：一般講演及び特別企画セッション等

[一般講演] 講演会ホームページ上の申し込み手順に従い、下記のいずれかにご応募ください。なお、一般講演で申し込みの場合でも、企画セッションでの発表をお願いすることがあります。

(一般1)「流体力学に関する講演」

航空機、宇宙往還機、飛翔体に関する空気力学または流体力学、流体物理の基礎及び応用に関する研究。

(一般2)「数値シミュレーションに関する講演」

航空宇宙に関連する、流体力学、構造力学等の数値シミュレーション技術及び計算機技術の研究。

[特別企画セッション等] 下記の企画セッション等を設ける予定です。講演を希望される方は、ホームページ上の手順に従ってお申し込み下さい。詳細はホームページ上でご確認ください。下記担当者にお問い合わせ下さい。

「Sixth Aerodynamics Prediction Challenge (APC-VI) (※1)」

詳細情報：<https://cfdws.chofu.jaxa.jp/apc/>

担当者：APC 実行委員会事務局(cfd-ws@chofu.jaxa.jp)

「パネルディスカッション「我が国の航空科学技術における数値シミュレーション・ビジョン策定を目指して(仮)」

担当者：高橋孝、橋本敦、満尾和徳、中北和之(JAXA)

(FDC/ANSS合同企画1)「高レイノルズ数流れと空気力学」

担当者：河合宗司(東北大)、松尾裕一(JAXA)、河内俊憲(岡山大)

(FDC/ANSS合同企画2)「航空宇宙流体データ科学の新展開」

担当者：口石茂(JAXA)、三坂孝志(産総研)

(FDC/ANSS 合同企画3)「低レイノルズ数流れ」

担当者：浅井圭介(東北大)、大山聖(JAXA)、岡本正人(金沢工大)

(FDC/ANSS 合同企画4)「革新回転翼機・eVTOL 機の空力的課題」

担当者：嶋英志、田辺安忠(JAXA)

(FDC/ANSS合同企画5)「空力音の予測と低減」

担当者：今村太郎(東京大)、池田友明、村山光宏(JAXA)

(FDC/ANSS合同企画6)「民間超音速機実現のための空力設計技術」

担当者：金崎雅博(首都大学東京)、牧野好和(JAXA)、佐宗章弘(名古屋大)、大林茂(東北大)

(企画ANSS1)「航空機開発のための多分野統合シミュレーション」

担当者：中北和之、橋本敦(JAXA)

(企画ANSS2)「宇宙輸送を支えるシミュレーション」

担当者：松山新吾、長谷川進、佐藤茂(JAXA)

(企画ANSS3)「複雑形状の実用非定常シミュレーション」

担当者：芳賀臣紀、嶋英志(JAXA)

(企画FDC1)「先進流体計測技術」

担当者：亀田正治(東京農工大)、中北和之(JAXA)

(企画FDC2)「デトネーションおよび圧縮性反応流の応用」

担当者：遠藤琢磨(広島大)、前田慎市(埼玉大)

講演者の皆様へ：

会場ではPCプロジェクトのみを用意しています。**PCにつきましてはご持参されますようお願いいたします。**

最優秀賞、優秀講演賞：

前刷論文及び講演内容に基づき、最優秀賞(2件)を授与します。またJSASS学生会員を対象に、優秀講演賞を授与します。優秀講演賞は講演と前刷の両方に基づき選考されます。積極的な応募をお待ちしております。

発表申込：**すべての講演申し込みは原則としてホームページによる申し込みとなります。**

<http://www.jsass.or.jp/web/index.php>

申し込み受付ページにて講演会名を選択後、手順に従い入力してください。

申込締切：**令和2年3月6日(金)**

原稿：**電子媒体講演集を配布します。**講演集原稿は執筆要項に従い作成の上、講演会ホームページのWeb入稿システムにより、PDFファイルで提出して頂きます。

原稿締切：**令和2年5月12日(火)23時59分まで**

参加登録料(講演集含む)：

	事前登録 ^{※2}	当日登録
正会員(主催・協賛)	8,000円	10,000円
非会員	11,000円	13,000円
学生会員	3,000円	5,000円
学生非会員	5,000円	7,000円

※2 事前登録の締切は、**令和2年6月中旬(予定)**です。

問い合わせ先：金森 正史(カナモリ マサシ)
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 航空技術部門
数値解析技術研究ユニット
〒182-8522 東京都調布市深大寺東町7丁目44番地1
Tel:050-3362-5902, E-mail: ryu52@chofu.jaxa.jp

件名に【流力/ANSS】と必ず記載して下さい。

シンポジウムに関する諸事項の詳細、執筆要項および原稿フォームのダウンロードに関しましては、ホームページをご覧ください。

<http://www.jsass.or.jp/web/index.php>

広告展示の募集：プログラムへの広告掲載およびシンポジウム当日の展示を募集します。希望される方は上記お問い合わせ先にご連絡ください。

「第 62 回構造強度に関する講演会」 講演募集

共催: 日本航空宇宙学会 (幹事学会), 日本機械学会, 宇宙航空研究開発機構

開催日: 2020 年 8 月 5 日(水)~7 日(金)

会場: アバンセ (佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター) (佐賀駅から徒歩約 10 分)

〒840-0185 佐賀県佐賀市天神 3-2-11 どんどんどんの森内

TEL: 0952-26-0011 URL: <https://www.avance.or.jp/>

講演申込先: (一社) 日本航空宇宙学会構造部門ホームページ

URL: <https://branch.jsass.or.jp/strcom/>

申込方法: 講演申込先の「講演会案内・申込み」よりお申し込みください。

受付後、「JSASS 講演申込受付」が自動送信されます。万一、

「JSASS 講演申込受付」がお手元に届かない場合は、学会事務局までご連絡ください。なお、「若手奨励賞」審査希望の方は以下の募集要項をご確認いただき、講演申込時に「若手奨励賞対象」にチェックを入れ、その上で備考欄に「奨励賞選考対象希望」と明記願います。

審査: 当講演会組織委員会で講演申込内容を審査します。講演を辞退して頂く場合は別途連絡いたします。

前刷原稿: A4 判用紙で 3 枚以内 (図, 表を含む)。書式は講演申込先よりダウンロードしてください。本講演会からのメール「講演会原稿アップロード依頼」で案内しますアドレスへ電子投稿してください。

講演申込締切: 2020 年 3 月 6 日(金)

原稿提出締切: 2020 年 6 月 5 日(金) (若手奨励賞は 2020 年 4 月 27 日(月))

託児所: 講演会場に託児所を準備します。利用希望者は講演会ホームページよりご連絡ください。

学会事務局: (一社) 日本航空宇宙学会 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-1-21 近三ビルディング 4 階

TEL:03-6262-5313

「第 62 回構造強度に関する講演会若手奨励賞」 募集要項

実施の目的: 「構造強度に関する講演会」において若手研究者の発表を対象に優秀発表者を表彰し、航空宇宙構造材料分野における若手研究者の研究意欲高揚を図ります。

対象発表: 以下の条件を全て満たすこととします。

- (1) 応募者は 2020 年 4 月 1 日現在で満 35 歳以下であること。
- (2) 応募者は当該講演において筆頭著者で講演を行うこと。
- (3) 応募者は日本航空宇宙学会学会員であること。
- (4) 一般講演申込締切までに若手奨励賞に応募していること。
- (5) 本賞の受賞経験者ではないこと。
- (6) 昨年度の構造強度に関する講演会において応募資格を失っていないこと。

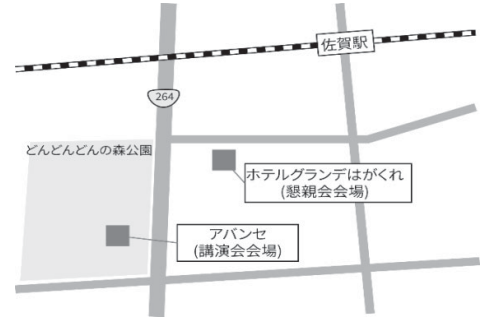
審査方法: 前刷原稿による一次審査により対象発表を絞り込み、講演会期間中における発表に対して二次審査を行い、一次・二次審査の結果を総合的に判断します。

審査基準: 講演会ホームページを参照願います。

注意事項: 若手奨励賞に申し込んだ方には、原稿提出締切を厳守していただきます。申込後に辞退しようとする場合は、原稿提出締切日の 7 日前までに講演会ホームページに記した連絡先にメール等で申し出てください。上記期日までに辞退の連絡がなく、原稿が提出されなかった場合、その年の応募は辞退したのとなり、翌年の若手奨励賞への応募資格を失いますので、ご注意ください。

表彰数: 原則 2 名

賞状・賞品: 講演会懇親会において、賞状並びに賞品を授与し、表彰いたします。



【有料会告】

九州大学大学院 工学研究院 航空宇宙工学部門 教員（准教授または助教）公募

1. 公募人員 准教授または助教 1 名
2. 所 属 九州大学大学院 工学研究院 航空宇宙工学部門 宇宙システム工学講座
3. 教育研究分野 軌道力学、人工衛星、宇宙環境に関連する研究分野を専門とし、宇宙工学に関する教育を行うことができる方
4. 講義科目 人工衛星工学、航空宇宙機設計論、宇宙利用システム工学、宇宙環境工学などからいくつかを担当
5. 応募資格 博士の学位を有し（取得見込みを含む）、上記の教育研究分野に関して意欲があり、教育熱心な方
6. 着任時期 採用決定後の早い時期
7. 任 期 常勤（任期なし）
8. 応募書類 (1) 履歴書（写真添付、学歴、職歴、研究歴、E-mail、電話番号などの連絡先を明記）
(2) 研究業績および目録（学術論文、国際会議 Proceedings、著書・編著書、総説・学術資料等、その他（掲載決定論文等）に区分、代表的な論文 5 編以内の別刷り各 1 部（コピー可）を添付のこと）
(3) その他の業績（特許・発明・考案等）
(4) 教育実績（公開講座、社内教育等を含む）
(5) 所属学協会およびその学協会での活動歴
(6) 受賞歴
(7) 外部資金獲得実績（科学研究費、共同研究・受託研究・その他の研究費）（代表者のみ）
(8) これまでの主要研究の概要（2,000 字以内）
(9) 今後の研究計画（2,000 字以内）
(10) 教育と研究についての抱負（1,000 字以内）
(11) 応募者について意見を伺える方、1 名以上の氏名、所属および連絡先
なお、応募書類は返却しませんので、ご了承ください。
9. 公募締切 令和 2 年 6 月 30 日（火） 17 時必着
10. 選考方法 第 1 次は書類審査を実施し、合格者に対する第 2 次審査はプレゼンテーションおよび面接により行う（面接の際の旅費は支給しません）。
11. 応募書類送付先および問い合わせ先
〒819-0395 福岡市西区元岡 744 番地
九州大学大学院工学研究院航空宇宙工学部門 教授 花田俊也
電話：092-802-3047 ファックス：092-802-3001
E-mail: koubo_3042@aero.kyushu-u.ac.jp
※「応募書類在中」と朱書きし、簡易書留にて郵送してください。
12. その他 (1) 航空宇宙工学部門の詳細は、<http://www.aero.kyushu-u.ac.jp/>を参照ください。
(2) 提出書類に含まれる個人情報、選考及び採用以外の目的には使用いたしません。
(3) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成 11 年法律第 78 号）の精神に則り、教員の選考を行っています（男女共同参画推進室 <http://dan.jyo.kyushu-u.ac.jp/>）。
(4) 九州大学では「障害者基本法（昭和 45 年法律第 84 号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和 35 年法律第 123 号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
(5) 九州大学では、平成 29 年 7 月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。

【有料会告】

九州大学大学院 工学研究院 航空宇宙工学部門 教員（教授・材料分野）公募

1. 公募人員 教授 1 名
2. 所 属 航空宇宙機構造強度講座
3. 教育研究分野 材料開発、製造技術、精密・微細加工、材料強度などの分野を専門とし、航空宇宙工学に関する教育を行うことができる方
4. 講義科目 材料力学、振動学、構造材料学、設計製図など（英語による科目も含む）
5. 応募資格 博士の学位を有し、上記の教育研究分野に関して意欲、実績、指導能力があり、教育熱心な方
6. 着任時期 採用決定後の早い時期
7. 任 期 常勤（任期なし）
8. 応募書類 (1) 履歴書 (2) 研究業績（代表的な論文 5 編の別刷りを添付のこと） (3) その他の業績（特許・発明・考案等） (4) 教育実績 (5) 所属学協会およびその学協会での活動歴 (6) 社会貢献実績 (7) 受賞歴 (8) 外部資金獲得実績（代表者のみ） (9) これまでの主要研究の概要 (10) 今後の研究計画 (11) 教育と研究についての抱負 (12) 応募者について意見を伺える方、1 名以上の氏名、所属および連絡先 ※詳細は末尾 URL のリンク先ファイルをご確認ください。なお、応募書類は返却しませんので、ご了承ください。
9. 公募締切 2020 年 3 月 31 日（火）必着
10. 選考方法 第 1 次は書類審査を実施し、第 1 次審査合格者に対する第 2 次審査はプレゼンテーションおよび面接により行う（面接の際の旅費は支給しません）。
11. 応募書類送付先および問い合わせ先
〒819-0395 福岡市西区元岡 744 番地 九州大学大学院工学研究院航空宇宙工学部門
部門長 教授 花田俊也 ※「応募書類在中」と朱書きし、簡易書留にて郵送してください。
電話：092-802-3047, E-mail: koubo_3021@aero.kyushu-u.ac.jp
12. その他 詳細は下記リンク先のファイルをご参照ください。
<http://kobo.jimu.kyushu-u.ac.jp/pdf/20191227102942.pdf>

【有料会告】

九州大学大学院 工学研究院 航空宇宙工学部門 教員（助教・熱工学）公募

1. 公募人員 助教 1 名
2. 所 属 航空宇宙熱・流体力学講座
3. 教育研究分野 熱工学（熱力学、伝熱学、燃焼学、熱物性、エネルギー変換システムなど）
4. 講義科目 熱工学関連科目、学生実験、設計製図などのうちいくつか
5. 応募資格 博士の学位を有し（取得見込みを含む）、上記の教育研究分野を基盤として航空宇宙工学に貢献する意欲があつて、教育熱心な方
6. 着任時期 採用決定後の早い時期
7. 任 期 常勤（任期なし）
8. 応募書類 (1) 履歴書 (2) 研究業績（代表的な論文 3 編以内の別刷りを添付のこと） (3) 学協会および社会における活動等 (4) 受賞歴および研究資金獲得実績（代表者のみ） (5) これまでの主要研究の概要 (6) 教育と研究についての抱負 (7) 応募者について意見を伺える方、1 名以上の氏名、所属および連絡先 ※詳細は末尾 URL のリンク先ファイルをご確認ください。なお、応募書類は返却しませんので、ご了承ください。
9. 公募締切 2020 年 5 月 29 日（金）必着
10. 選考方法 第 1 次は書類審査を実施し、第 1 次審査合格者に対する第 2 次審査はプレゼンテーションおよび面接により行う（面接の際の旅費は支給しません）。
11. 応募書類送付先および問い合わせ先
〒819-0395 福岡市西区元岡 744 番地 九州大学大学院工学研究院航空宇宙工学部門
教授 高橋厚史 ※「応募書類在中」と朱書きし、簡易書留にて郵送してください。
電話：092-802-3015, E-mail: koubo_3012@aero.kyushu-u.ac.jp
12. その他 詳細は下記リンク先のファイルをご参照ください。
<http://kobo.jimu.kyushu-u.ac.jp/pdf/2019122413514.pdf>

【有料会告】

防衛大学校 教官公募

【公募人員】 助教1名（身分は特別職国家公務員です。）

【所属】 システム工学群 航空宇宙工学科

【専門分野】 航空機構造力学（航空・機械工学を専門とし、航空機・宇宙機の構造や複合材料に関する教育・研究に取り組める方）

【担当科目】 本科（学部相当）：航空宇宙工学及び専門分野の実験演習、卒業研究の補助
理工学研究科（大学院相当）：専門分野に関連した実験演習等

【応募資格】 (1) 博士の学位（または外国における同等の学位）を有し（着任時まで取得見込みの者を含む。）、専門分野の研究業績があり、教育・研究に熱意のある者

(2) 研究上の業績が上記の者に準ずると認められる者

【応募資格のない者】

ア 日本の国籍を有しない者

イ 自衛隊法第38条第1項の規定により自衛隊員になることができない者

○禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者

○法令の規定による懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

○日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

ウ 自衛隊法第44条の2（自衛官以外の隊員の定年及び定年による退職の特例）に該当する者（この選考では、令和2年度中に60歳に達する者）

【着任時期】 令和2年10月1日

【提出書類】 (1) 履歴書（写真貼付、E-mailアドレスを明記の上、学歴、職歴、学会及び社会における活動等を記載）

(2) 応募票（書式を下記のホームページからダウンロードの上、記入及び押印すること）
<https://www.mod.go.jp/nda/recruit/index.html>

(3) 研究業績リスト（学術論文、国際会議 Proceedings、講演発表等に分類すること。また、受賞歴や外部資金等の特記事項があれば記載すること）

(4) 主な論文5編以内の別刷り（コピー可）と各論文の簡単な説明

(5) これまでの研究実績の概要、着任後の教育・研究に関する抱負（それぞれ1000字程度）

(6) 本人の能力人柄等を伺える2名の氏名と連絡先（E-mailアドレス、TEL、所属等）

【応募締め切り】 令和2年4月5日（日）必着

【書類送付及び問い合わせ先】

〒239-8686 神奈川県横須賀市走水1-10-20

防衛大学校システム工学群 教授 田中 宏明

E-mail: tanakah@nda.ac.jp (TEL:046-841-3810 (内線 3721))

*簡易書留で封筒に「教官（航空機構造力学）応募書類在中」と朱書きのこと

*提出書類は原則として返却致しません

【その他】 (1) 書類選考の上、候補者に対して面接及び身体検査を行います（日程は別途連絡します）。

(2) 結果につきましては、直接本人に連絡致します。

(3) 適任者がいない場合には決定を保留することがあります。

(4) 防衛大学校では男女共同参画を推進しています。男性女性を問わず、優秀な教育研究者の積極的な応募を歓迎します。

(5) 面接及び身体検査の際の往復の交通費は支給しません。

本会共催・協賛・後援行事

第12回放射線による非破壊評価シンポジウム

主催：日本非破壊検査協会 放射線部門
期日：2020年2月13日(木)～14日(金)
会場：東京都立産業技術研究センター青海本部
参加費：JSNDI正会員4,000円 学生会員3,000円 協賛団体会員6,000円 非会員一般8,000円 学生4,000円
問合せ先：〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル10階 一般社団法人日本非破壊検査協会学術課 蒲生 (gamou@jsndi.or.jp) 「第12回放射線による非破壊評価シンポジウム」係
TEL:03-5609-4015
FAX:03-5609-4061

腐食防食部門委員会 第333回例会

主催：日本材料学会
日時：令和2年3月2日 13:00～16:50
会場：大阪府教育会館 たかつガーデン2階コスモス
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7番11号
(近鉄「大阪上本町」駅から徒歩約5分、
<http://www.takatsu.or.jp/access.html>)
参加費：日本材料学会・協賛学会会員：5,000円
その他 非会員：10,000円
申込先：〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1-101
公益社団法人 日本材料学会
Tel:075-761-5321,
Fax:075-761-5325,
E-mail:jimu@jsms.jp

第7回制御部門マルチシンポジウムおよびSICE International Symposium on Control Systems 2020

主催：計測自動制御学会
期日：2020年3月2日(月)～5日(木)
会場：徳島大学 常三島地区 (徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地)
申込方法：下記 Web ページから申し込み
MSCS 2020: <http://mscs2020.sice-ctrl.jp/>
ISCS 2020: <http://iscs2020.sice-ctrl.jp/>
問合せ先：部門担当/電話(03)3292-0314,
E-mail bumon@sice.or.jp

2019年度衝撃波シンポジウム

主催：日本衝撃波研究会
会期：令和2年3月4日(水)～6日(金)
場所：神戸大学 深江地区キャンパス (海事科学研究科)
(〒658-0022 神戸市東灘区深江南

町5-1-1)

参加登録費：一般 3,000円, 学生 1,000円
事務局：TEL & FAX:078-431-6277
E-mail:jssw2019@maritime.kobe-u.ac.jp
関連ホームページ (申込み要領等)
<http://www.org.kobe-u.ac.jp/issw2019/>
シンポジウム事務局
E-mail:jssw2019@maritime.kobe-u.ac.jp

第1回世界エンジニアリングデイ記念シンポジウム

主催：日本工学会
日時：令和2年3月5日(木)10:00-17:00
場所：東京大学山上会館 大会議室
(〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1)
参加費：2,000円 (資料代含む)
問合せ先：公益社団法人 日本工学会
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-10 乃木坂ビル3階
TEL:03-6265-0672
E-mail:eng@jfes.or.jp

シンポジウム「モバイル'20」

主催：モバイル学会
期日：2020年3月6日(金)～7日(土)
場所：筑波大学 総合研究棟B
発表参加費：会員・協賛学協会会員12,000円 (早割10,000円)
一般18,000円 (早割16,000円) (早割申込は1/31までに振込のこと)
問合せ先：モバイル学会事務局 <http://www.mobilergo.com/>
シンポジウム「モバイル'20」WEB ページはこちら
http://www.mobilergo.com/site/apps/1022/htdocs/?page_id=1428

日本学術会議総合工学シンポジウム2020—文理の協創によって社会的課題に立ち向かう—

主催：日本学術会議 総合工学委員会
日時：令和2年3月12日(木)13:00-18:00
場所：日本学術会議講堂
問合せ先：「総合工学シンポジウム2020」事務局
TEL:03-5841-6960,
FAX:03-5841-0651
E-mail:SCJ_sogo2020symp@save.sys.t.u-tokyo.ac.jp

第23回電磁気応用部門・磁粉・浸透・目視部門・漏れ試験部門合同シンポジウム「表面探傷技術による健全性診断、品質検査」

主催：日本非破壊検査協会

開催日：2020年3月17日(火)～18日(水)
会場：東京都立産業技術研究センター青海本部 (〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10)
<https://www.iri-tokyo.jp/site/access/honbu.html>
参加費：JSNDI正会員 4,000円, 登壇者4,000円
学生会員 3,000円, 協賛学会会員6,000円
非会員一般 8,000円, 学生4,000円
講演申込締切：2020年1月17日(金)
参加登録申込締切：2020年2月21日(金)
申込方法：協会ホームページ (URL <http://www.jsndi.jp/>) から申し込み
問合せ先：日本非破壊検査協会 学術課「表面探傷シンポジウム」係
TEL:03-5609-4015,
FAX:03-5609-4061,
E-mail:nakamura@jsndi.or.jp

第11回日本複合材料会議 (JCCM-11)

主催：日本材料学会, 日本複合材料学会
期日：2020年3月17日(火)～3月19日(木)
会場：大阪大学 中之島センター (〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53)
<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>
参加登録料：主催および協賛学会等会員 (一般)6,000円
非会員 (一般)12,000円
主催および協賛学会等会員 (学生)3,000円
非会員 (学生)6,000円
問合せ先：日本材料学会・事務局
〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1-101
Tel:075-761-5321,
Fax:075-761-5325,
E-mail:jimu@jsms.jp
学会ホームページ
<http://www.jsms.jp/>

第9回ロボット大賞

主催：経済産業省, 日本機械工業連合会
募集：
(1) 期間：令和2年4月7日～6月5日 (予定)
(2) 部門：ビジネス・社会実装部門, ロボット応用システム部門, ロボット部門, 要素技術部門, 研究開発部門, 人材育成部門
(3) 分野：ものづくり分野, サービス分野, 高度 ICT 基盤技術分野, 介護・医療・健康分野, インフラ・災害対応・建設/消防防災分野, 農林水産業・食品産業分野
表彰位：経済産業大臣賞, 総務大臣賞, 文部科学大臣賞, 厚生労働大臣賞, 農林水産大臣賞, 国土交通大臣賞, 中小企業庁長官賞, 日本機械工業連合会

会長賞 他.
 表彰式：令和2年10月8日
 問合せ先：ロボット大賞事務局
 日刊工業新聞社 総合事業局 イベ

ント事業部 蓮見・山本
 〒103-8548 東京都中央区日本橋小
 網町 14-1
 TEL: 03-5644-7221

FAX: 03-5641-8321
<https://www.robotaward.jp/index.html>

航空輸送100年 安全性向上の歩み

著者 遠藤信介

発行：公益社団法人 日本航空技術協会
 ISBN：978-4-909612-03-8
 本体価格：2,700円（税別）
 送料：600円

ご購入はオンラインショップからどうぞ
<https://www.jaea.or.jp/onlineshop>



現在の航空安全基準は、事故等の教訓を踏まえ長年にわたって改善が図られてきたものです。本書は、世界初の定期便（1914年）から現代のジェット便に至るまでの約100年間における航空輸送の安全性向上の歩みを、多数の事故報告書と基準制定法規等の原典に関する丹念な調査の基づき、個々の安全基準がどのような事故等の教訓から形成されてきたかについてわかりやすく解説しています。航空業界の実務、学術にかかわるすべての方々にぜひご一読をお勧めします。

目次

まえがき

序章 安全性の改善と格差の存在	1
● はじめに	1
第1章 航空輸送の始まり（1783～1923）	9
● 航空輸送の始まり - 熱気球から飛行船へ	9
● 飛行機による有人飛行の始まり	11
● 飛行機による定期運航の始まり	13
● 米国航空輸送発展の礎 - 航空郵便	13
● 自動化の始まり	18
第2章 航空安全法の制定、航空管制の始まり（1920年代～1930年代半ば）	21
● 1920年代以降の米国航空産業の急速な発展	21
● 航空安全法の制定 - 航空安全規制の始まり	22
● 航空路の整備	25
● 航空管制の始まり	28
● 航空事故調査の始まり	33
第3章 日本の航空黎明期（1910～1930年代）	38
● 黎明期の事故多発	38
● 航空局発足と航空法制定	39
● 航空産業の発展	42
● 航空事故	44
● 大森上空での空中衝突事故	46
➢ 公表された再発防止策の概要	47
➢ 事故原因（新聞掲載談話の概要）	47
● 試験飛行中の旅客機墜落事故	49

第27章 マレーシア航空370便の行方不明（2014）	519
● 行方不明となるまでの飛行経過	519
● 衛星記録からの飛行経路推定	521
● 機体破片の漂着	525
● 捜索の打ち切り	527
● 原因の調査	527
➢ 最終報告書の結論の主要部分	527
● 事故後の航空機捜索等の改善	528
➢ 国際民間航空条約付属書の改正	529
第28章 残された安全上の課題	531
● 残された安全上の課題	531
➢ 航空会社機の安全性向上対策	531
➢ 安全性の格差	532
➢ 緩慢なGAの安全性改善	533
➢ 米国におけるGA安全対策の歴史	534
➢ さらなる安全性の改善に向けて	538
追 補	540
● B767 貨物専用便墜落事故（2019）	540
● B737MAX8 連続墜落事故（2018～19）	541
事故統計・安全指標の図表一覧	549
索引	550

目次抜粋（※この内容は本書の一部です。）